県教委と県P理事との懇談会

平成25年8月20日(火)　於 グランデはがくれ

平成二十五年八月二十日(火)グランデはがくれにおいて、県教育委員会と県PTA連合会との懇談会が開催されました。

はじめに、県教育委員会各課より今年度の主要施策について説明がありました。

事前に県P理事からの質問・要望書に対して丁寧に分かりやすく説明していただきました。その後、なごやかな雰囲気の中で意見交換会が行われました。

〈出席者〉
佐賀県教育委員会
中島　秀明　副教育長
教育政策課
神代　芳男　課長
教育情報化推進室
石井　和裕　副室長
学校教育課
山田　修司　参事
池田　典穂　義務教育指導主幹
教育支援課
瀬戸口義郎　課長
文化・スポーツ部まなび課
松原　美寿　課長
佐賀県PTA連合会
西岡　豊　会長
県PTA連合会理事等

佐賀県PTA新聞

発行所
佐賀市与賀町 1−24
佐賀県PTA連合会
☎0952−㉖2276
印刷　佐賀印刷社

発行責任者
会長　西岡　豊

語り合おう！
「家庭の日」
(毎月第三日曜日)

教職員課

・優秀な教職員の養成・確保
(教員採用選考試験の内容等の改善・充実)
(教職員の資質向上と学校の活性化)
・意欲や専門性に富んだ人材の活用
(教員の応募指名制度(FA制度)のより一層の推進)
(スーパーティーチャーの認証と積極的な活用)
・教職員のメンタルヘルス対策の充実
(メンタルヘルス研修会の実施)
(新たにストレスマネジメント対策のための研修会の実施)
(復職に向けた支援体制)

学校教育課

・不登校対策について
・いじめ問題に係る取組
・大学受験力及び学力向上緊急対策・推進事業
・教科体育の充実、体力向上の推進
・健康教育・性に関する指導の充実
・学校における食育推進

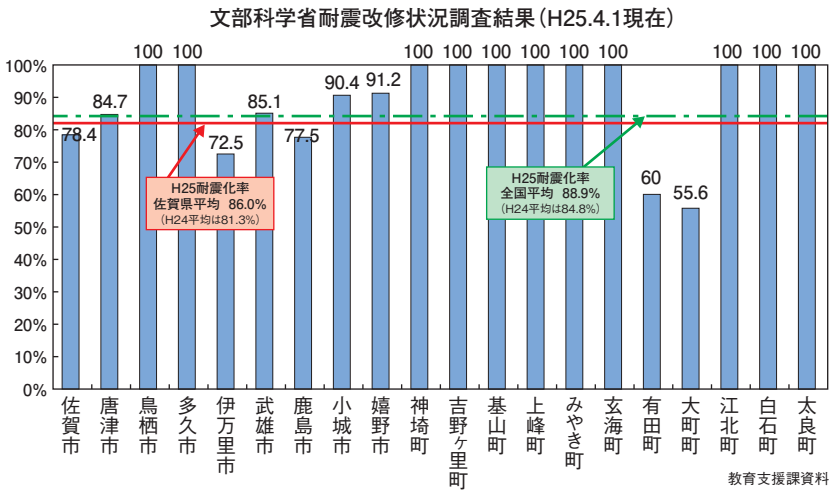
学校支援課

・公立小中学校施設の耐震改修状況
(耐震化率)

文化・スポーツ部まなび課

・家庭・学校・地域連携支援体制づくり推進事業
(授業の補助などの学校支援活動)
(家庭教育の情報提供などの家庭教育支援の活動)
(地域の協力者、団体、関係機関、企業との連携)

公立小中学校施設の耐震改修状況(耐震化率)



教育支援課資料

info

優秀広報紙集の紹介

全国小・中学校PTA新聞コンクールの入賞作品を紹介している「2013優秀広報紙集」(日本PTA全国協議会編)が発行されました。

「ほのぼの」も掲載されていますので各単Pに一冊いかがですか。

申込／各単Pへ一冊 ¥1800

日本PTA全国協議会佳作受賞「ほのぼの」

第三十五回全国小・中学校PTA広報紙コンクールにおいて太良町立多良中学校の《ほのぼの》が、日本PTA全国協議会で佳作に入賞いたしました！

応募広報紙数は、小学校三百五十一点、中学校二百二十四点、合計五百七十五点、その中から、「ほのぼの」は、見事に受賞いたしました。

生徒たちの学校生活の楽しさが良く伝わると講評を頂きました。

心よりお喜び申し上げます。

多良中学校の皆様おめでとうございました。「ほのぼの」みなさまも是非ご購読ください。

ランドセル

今年は大型台風の上陸、異常現象が多く、十月になり昼間はまだ暑い日が続きますが、朝夕はめっきり涼しい季節となりました。朝、中学校校門の前で挨拶しているとき、たくさんの小学生が楽しそうにランドセルを背負って歩いている姿を見かけると、自分の子どもも、ランドセルをうれしそうに背負っていたのを思い出します。私の子どもは上の子が紺色の横型、真ん中の子が茶色の横型、下の子(四年生)が水色と他の子どもと少し違った色で、遠くからでもすぐ見つける事ができました。どの子もランドセルをもらった時は入学式・学校で友達一〇〇人できるかなと楽しみにしていると思います。ですが学校に不安をもっている子もいると思います。子どもの不安は取り払ってあげたいと親なら思います。学校はみんなと一緒にいろんな事を学ぶところ…しかし、今の問題は携帯電話や音楽を聞く機器等でのライン等、学校以外のところにもあるようです。携帯電話は便利なものですから、保護者が勉強会に参加して、子どもに持たせるときは使い方をよく注意し、保護者として見守りたいと思います。

東与賀中P　百武　義一

の自慢の献立

「ごんぼ飯・つんきいだご汁」

塩田小T　八田伊津子

塩田地区の郷土料理で子ども達に人気の料理は「ごんぼ飯・つんきいだご汁」です。伝統食として、地元の産物を使って独自の方法で、昔から伝えられてきた絶品であり、塩田っ子が大好きなメニューです。

「ごんぼ飯」は、ごぼうを主材料にして、鶏肉・人参・しいたけ・かまぼこ等の具を煮て、ご飯に混ぜ込んだ料理です。客のもてなし料理、地区の祭り、精進料理等に昔から親しまれ、何よりのごちそうとして作られました。給食での「ごんぼ飯」は、好き嫌いのある子も、「おいしい！」と笑顔で食が進みます。

「つんきいだご汁」は、小麦粉を主材料にして、大根やかぼちゃ、人参、ねぎ、白菜、小松菜等の野菜を豊富に使った汁物です。小麦粉を水でとき、こねて、一口大にちぎっただんご（つんきいだご）を入れるのでこのように言われます。栄養的にもバランスが良く、主食・主菜を兼ねる料理として、家庭でもよく作られ、好評です。

「マジェンバ」

岩松小P　長元　涼子

「マジェンバ」はマジェンバ用のたれを麺にからめて、小城市で育った食材を混ぜて食べる小城の『B級グルメ』です。麺の上にのっている野菜を使い、小城で作られた塩麹を混ぜます。その上に有明海産の海苔をかけて、麺、野菜、のりを混ぜていただきます。塩麹を使うことで味に深みが増し、野菜をおいしく食べることができ子ども達の大好物のメニューです。

〈材料〉
スパゲティ　鶏ひき肉　玉葱
マジェンバのたれ　だし汁
きゅうり　にんじん
きゃべつ　ピーマン等

〈作り方〉
①鍋に鶏ひき肉、みじん切りの玉葱を炒め、だし汁、マジェンバのたれで味を調えて、茹でたスパゲティ麺を加えます。
②野菜は食べやすい大きさに切って、茹でて冷やし、塩麹と混ぜます。
③皿に①を盛り付け、②をのせて、のりをかければ出来上がりです。
ぜひ一度作ってみては、いかがですか。

「お、おさかな一匹！」

成和小P　鶴　尚美

給食にいろいろなお魚メニューも当然ありますが、お魚の日の勉強のあとなどに出る、お魚まるまる一匹出るインパクトにはおどろきをかくせません。市内では、めずらしい取り組みだという話を聞きました。子ども達は、回をかさねるごとに食べ方が、上手になってきていて「小骨まできれいに取る！」とか、「小骨ぐらいは、気にしない。食べられるから。」と言っています。食べ方を競っていますよね。食

「地域の食文化を学べる給食」

北明小P　川﨑　博之

北明小学校の給食は、白石町内（旧白石町）の小中学校五校の給食を作っている白石町学校給食センターから届けられます。

給食センターで作られる給食は、「よくかんで食べる献立」「日本の味めぐりの献立」「白石食の日の献立」「誕生献立」「お楽しみ献立」「三つ（じゃがいも・にんじん・たまねぎ）の食材を使った献立」といった六つのテーマにそった献立作りに取り組まれています。中でも、「白石食の日の献立」では、「テンペ」と呼ばれる大豆の加工品などを使った献立があります。「テンペ」を使った料理では、ハンバーグや野菜との和え物などがあります。また、毎年十月に町内の神社で行われる「おくんち」の日は、郷土料理「煮じゃあ」が出されます。見た目は華やかではありませんが、味は最高で我が家の子どもたちも大好きです。

このように、給食は子どもたちの成長に必要な栄養を考慮した献立作りはもちろんのこと、地域でどのような農産物が栽培され、自分たちが住んでいる地域にどのような郷土料理があるかを知る上で大きな役割を果たしています。これからも、おいしくそして楽しい給食を作っていただきたいと思います。

ありた！ふるさと食の日

大山小P　桑原　美香

我が校の給食献立表を毎月、子どもと一緒に読むのが楽しみです。それは、「ありた！ふるさと食の日」という献立があり、地元の生産者の方々をはじめ、多くの地域の方々の支援を得ながら、たくさんの地場産物（佐賀県・有田産）の旬の食材を使った給食だからです。

今回は、九月の給食をご紹介します。

○さんまの塩やき
○秋なすのマーボー炒め
○冬瓜の酢の物
○ごはん（有田産棚田米）
○梅干し（伊万里梅加工研究所）

他にも「日本の味めぐり」という、鹿児島県であれば郷土料理である「さつま汁」や「きびなご料理」などの献立が給食にあります。

九月の献立には、もう一つ行事食といって「お月見」があります。

○スコッチエッグ
○さといものあまからに
○もみじふのすましじる

いつも、栄養たっぷりのおいしい給食を考えて頂き感謝しています。

また、毎月「ありた！ふるさと食の日だより」も発行されていて、食材の生産者の方の紹介や食材の栄養がわかりとても勉強になります。今では食事をする時に、食材の栄養について話したりするようになりました。

「いじめ防止標語コンテスト」

PTA連合会では児童生徒のいじめ防止を啓発する内容の標語を募集します。

募集期間
平成25年12月2日（月）～平成26年1月14日（火）

表彰など
最優秀作品入賞者は保護者と共に春休みに東京での表彰式に出席の上、賞状と副賞（図書券）が贈られます。

募集要項
各学校に別途お知らせします。

書き損じハガキ募集

市郡連活動費の捻出のために

市郡連活動費の一助として本年度も書き損じハガキ（PTA基金）の募集をすることになりました。これは佐賀県独自の取り組みです。

皆様のご協力をお願いいたします。

○募集方法
・期間　平成25年12月2日（月）～平成26年1月31日（金）
・各家庭に呼びかけ、保護者や児童生徒を通じて各単Pで回収する。（制限なし）
・各単Pで、百枚単位で輪ゴムで括り、2月14日（金）までに市郡連事務局に届ける。
・不明な点等は、県P事務局へお尋ねください。
（☎0952－26－2276）

我が校、我が家

「野菜たっぷり健康ご飯」

東脊振小Ｔ　宮原　哲子

七月十日の我が校の給食は、白身魚（ホキ）の曙揚げ（天ぷらの衣ににんじんピューレを混ぜたもの）にかしわ汁、野菜のごま味噌マヨ和えでした。地味にも見える献立ですが、栄養バランスのとれた献立で、子どもたちにぜひ食べさせたい食事になっていると思いません か。

魚が家庭の食卓に並ぶのは週に何回あるでしょう。骨が苦手で魚を食べない子もいるといいます。骨のない白身魚をかりっと揚げた曙揚げは、とても食べやすくおいしかったです。またごぼう、里芋などのたっぷりの根菜と椎茸と鶏肉の入ったかしわ汁は、薄味ですが、出汁がきいたとてもおいしいものでした。野菜の和え物は子どもたちの好きなマヨネーズ風味です。この日は納豆の日ということで納豆も付いていました。

仕事をしているお母さんが多い中、忙しい毎日、野菜たっぷりのバランスのとれた食事を作ることはたやすいことではありません。健康的で美味しい給食を感謝しながらいただいています。

「大好評！お楽しみメニュー」

多良中Ｐ　西村　香

太良町の学校給食では、毎月一回子ども達や先生方からアンケートをとり、選ばれた献立を提供するお楽しみメニューの日があります。この日を子ども達は楽しみにしています。

今月は、

○カツカレー
○ワカメサラダ
○アセロラゼリー
○牛乳

でした。

カレーの材料の玉ねぎとじゃがいもは、地元産が使用されていて、辛さが苦手な子どものためりんごのすりおろしで甘みがプラスされています。ボリューム満点のカツカレーは、食べ盛りの中学生の大好物です。

来月予定のハムチーズカツやチョコクレープ、他にもから揚げ、プリンタルト、ココア揚げパンなどが特に人気のようです。

べ終わる時間も前よりも早くなったそうです。お魚一匹食べるのが上手になったら、命の大切さも考えるようになるのではと期待します。残さず上手に食べたら、ほめましょう。えらい！すごい！

「めんどうだけど、おいしいよ！」次のお魚一匹の時も、しっかり食べて「ごちそうさま！」しましょう。

県校長会・県ＰＴＡ連合会　合同研修会

平成二十五年九月十日（火）於　グランデはがくれ

研修会テーマ「学校と家庭が協働する学校づくりで、すこやかな子どもを育もう！」

佐賀県小中学校校長会と佐賀県ＰＴＡ連合会の合同研修会が開かれました。

小学校・中学校分科会で、研究テーマに沿って提言があり、小中学校の校長先生のバイタリティあふれる（学校づくり）が発表されました。

いずれも地域と学校の連携や地域の中の学校の位置づけが明確になされており、先生と保護者と生徒だけで成果があるものではなく、地域の力の大切さを報告されました。

小学校部会提言

嬉野市立塩田小学校　校長　瀬戸口　裕

提言概要

テーマ「保護者・地域コミュニティーとの連携」

ＰＴＡ会員数は97であるが、教育に関心が高く、各種学校行事等への保護者の参加が多く、学校教育に協力的である。

本校区には、伝統的な建造物郡保存地区として指定された宿場町の面影を残す「塩田津」があり、町並み保存のための活動が行われていると同時に、本校児童の学習教材、並びに学習活動の場ともなっている。

★保護者と連携した取り組み

①全会員が必ずいずれかの専門部に所属するＰＴＡ組織
②保護者の協力あっての体験活動
③保護者の協力で開催する「よかとっこ祭り」

★地域コミュニティと連携した取り組み

①小学校を支える地域コミュニティ
②共同開催する校区合同運動会
③青色パトロールとの対面式
④みんなの目で行う通学路点検
⑤人材バンク登録者名簿づくり

中学校部会提言

武雄市立武雄北中学校　校長　林　正昭

提言概要

テーマ「答えは現場にある」

★学校教育目標

・人間力を育てる「夢プロジェクト」の推進
・確かな学力の育成
・豊かな心の育成
・たくましく生きるための健康と体力の推進

★研究実践

・夢プロジェクト
・８１０（ハチイチマル）大作戦

★成果と課題

今までの「８１０大作戦」での取り組みや夢プロジェクトにおける夢をもつことの意義は、少なからず、全国調査や県調査の無解答率の減少などにも成果が表れている。もちろん、その要因はこれだけでなく、実際に授業でのＩＴＣ利活用や言語活動の充実なども考えられるであろう。

本校区内は様々な組織・団体がある。学校は、区長会や長寿会、婦人会、体育協会、防犯協会などと、総会をはじめ会合には必ず出席をして、繋がりを強くしています。お互いの今を知り信頼関係を築き、地域の力をお願いしたい。「答えは現場にある」ということを肝に銘じた学校経営のためのつながりになっている。

子育て応援メッセージ「子育ていちばん！」

- あいさつ習慣　日々努力
- 家族の絆は　日々食育
- 親子でがまん　日々前進
- 言葉・しぐさで　日々反省
- 子育て楽しみ　日々発見

私が、最近子育てについて感じる事、それは『子は親を見て育つ』です。

高二の息子、中三と小四の娘がいます。子ども達が小さい時から、主人は地域の行事やＰＴＡ活動等、積極的に関わってきました。その姿を見てきたからか子ども達も参加するのはあたり前だと思っています。一つ一つの行事の裏で、成功する為に活動している事も見てきました。

子どもクラブのミニバレーボール大会では、最上学年として年下の子ども達に声を掛けて楽しくプレイできました。一つの目標に向かって団結する事、どうすれば皆が楽しめるか等、体験できました。

しつけは言葉で言う事はできますが、生き方は大人が見本を見せてあげないといけないと思っています。良い事ばかりでなく悪い事も見本になっているのですが…。

私も、子ども達に素敵な姿を見せられる様に成長していけたらと思います。

子どもには親の笑顔が一番です。

桜岡小Ｐ　辻田　茂子

今年で役員をして二年目になります。うちには三人の息子がいて、私は子育て十四年目ですが…なかなかベテランにはなれず、問題にぶつかると友達や周りの方々から助けられながら、子どもと共に日々成長させてもらっているところです。

先日、沖縄のＰＴＡ九州大会に行かせてもらった時に講演の中で聞いてきた言葉なのですが、「なんくるないさー」とは「なんとかなるさ」ではなく「人として正しい事をし、誠実に生き、懸命に努力をしながらやれるところまでやったのなら後は何とかなる。信じる。うまくいく。」という想いが込められた言葉だそうです。私も本当の意味を知らなかったのですが、聞いてとてもステキな言葉だなと思いました。

他に、私が好きな言葉に「ありがとう」があります。気づけばどんな些細なことにでもありがとうと感謝できると思います。そこで気付けるかが難しいのですが、気づいていけるような子に育てていきたいです。

子育てをしていく上で「なんくるないさー」と愛情を込めて、周りの家族や地域の人に感謝して頑張っていきたいと思います。

北方中Ｐ　勝又麻理子

晴田小学校の育友会活動

晴田小育　会長　北川　弘幸

晴田小育友会は保護者の皆さんの情報交換の場になるような活動を目標に、「執行部」「総務部」「父親部」「母親部」「広報部」「厚生部」の六部門で構成されており、各学年の保護者の皆さんで構成されています。

主な仕事としては、本の読み聞かせ、子ども一一〇番の場所の把握と旗の交換、土曜教室の協力、ＰＴＡバレーボールの練習と選手集め、広報誌の作成、ベルマークの集計、あいさつ運動、バザーの開催、運動会等の学校行事協力などです。

武内小学校の育友会活動

武内小育　会長　松岡　利昭

武内小育友会は、子ども達の安全をモットーに、執行部、広報部、保体部、施設部、生活部、母親部、並びに保護者全員、地域の有志の方々の支援のもと活動しています。

主な活動内容として、朝の挨拶運動並びに子ども達への交通安全指導。年四回地域有志の方々と合同の除草作業。施設部が企画した育友会独自の除草作業も年一回行い、その折り、遊具の安全点検と塗装作業も行い、子ども達が安全に遊べるようにしています。

特色ある単Ｐの活動 ～小城市・武雄市編～ Vol.27

特色のある活動としては、関連する「晴田地区青少年健全育成会」「区長会」「晴田振興会」等と協力しながら地域全体で子どもたちを見守り育てていく、育友会として地域に密着した活動をしています。特に「晴田地区青少年健全育成会」が第二土曜日に開催している「土曜教室」では身近な地域の方を講師として、「キックベース」「川釣り教室」「山野草摘み料理教室」「干し柿つくり」「凧作り」「うどん打ち体験」など季節ごとのイベントに参加することが出来ます。

最後になりますが、これからも晴田小育友会一丸となり、心優しくたくましい「晴田っ子」を育てていきたいと思います。

各部の活動として、母親部は、ベルマークとペットボトルキャップの回収。地域の方々の提供を得て、地域の祭りにバザーを出店しています。生活部においても空き瓶アルミ缶を回収し、バザーとの収益から児童全員に反射タスキを一本ずつ配り、下校時に着用させ、交通事故防止に努めています。広報部は、育友会機関紙を作成し、学校での幅広い内容を各家庭に報告しています。保体部では、小学校わんぱく相撲の準備、進行。町民大運動会の各係などもしています。

また、育友会では、地域行事の教育講演会やふれあい祭りにも積極的に参加しています。月一回のノーテレビも実施し、各家庭に協力してもらい、月の実施率が九十八％に達するという記録も達成しています。今後とも、育友会全員で、各活動に取り組んでいきます。

佐賀県PTA連合会推薦　小中学生総合保障制度（こども総合保険）について

お子様を取り巻く様々なリスクに対応します。

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガを補償します。

他人にケガを負わせたり、他のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に補償します。所定の条件を満たした場合、借り物の損害も補償します。ご家族の方も対象です。

※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合せください。

○制度に関するお問合せ先：0120－228－553　佐賀県PTA連合会保障制度事務局（取扱代理店：株式会社コーリン）受付時間：平日午前9時～午後5時（土・日・祝日、年末年始を除く。）

○事故のご連絡先　：0120－127－591　お電話による保険金のお支払いサービス窓口（ＡＩＵ）　受付時間：平日午前9時～午後5時（土・日・祝日、年末年始を除く。）

○制度引受保険会社　：ＡＩＵ損害保険株式会社　東京海上日動火災保険株式会社　株式会社損害保険ジャパン

2013年2月現在の内容です。

承認番号　A－000369　2014-04